

# 住友化学のサステナビリティ

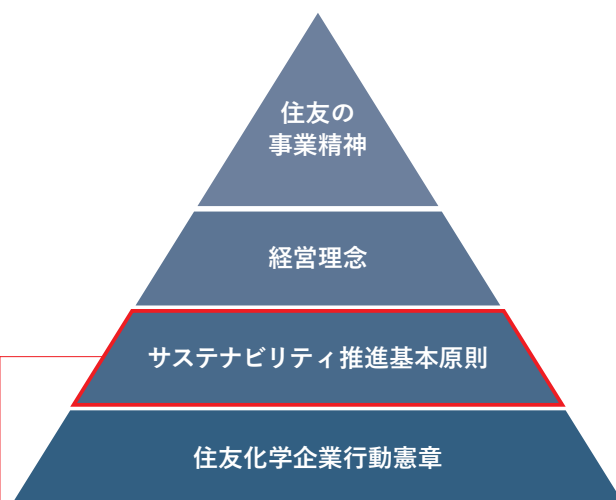
## 住友化学のDNA

住友化学の歴史は、かつて銅の製錬プロセスから排出されるガスが煙害を引き起こし、その解決が急務となっていたところ、このガスを原料として肥料を製造し、環境問題の克服と農業の生産性の向上を実現したことから始まりました。事業を通じて社会が直面している課題を解決するという考え方は、当社グループのDNAといえるものです。

## サステナビリティの考え方

住友化学グループは、事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献するとともに、自らの持続的な成長を実現することを「サステナビリティの推進」と定義しています。サステナビリティの推進にあたっては、イノベーションを通じて経済価値と社会価値を同時に創出すること、そして持続可能な開発目標SDGsの達成などの国際社会の重要課題の解決に貢献することを目指しています。また、経営トップのコミットメントと全役職員の参画のもと、ステークホルダーと連携・協働し、継続的な検証と改善を行いながらさまざまな取り組みを進めていくこととしています。こうした考え方およびコミットメントを示したものが、「サステナビリティ推進基本原則」です。企業理念において本原則を「住友の事業精神」および「経営理念」の次に位置づけることにより、サステナビリティの推進に経営として取り組む姿勢を示しています。

### 住友化学の企業理念体系



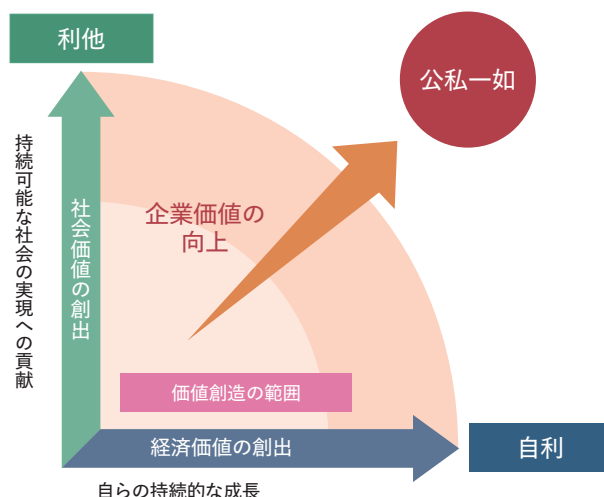
### サステナビリティ推進基本原則

- |     |                                   |
|-----|-----------------------------------|
| 原則1 | 経済価値と社会価値の創出<br>（「自利利他 公私一如」※の推進） |
| 原則2 | 国際社会の重要課題解決への貢献                   |
| 原則3 | 関係機関との連携                          |
| 原則4 | ステークホルダーとの協働                      |
| 原則5 | トップコミットメントと全員の参画                  |
| 原則6 | ガバナンス                             |

※「自利利他 公私一如」

住友の事業は、住友自身を利するとともに、  
国家を利し、かつ社会を利するものでなければならない

### 企業価値向上のイメージ



## 経営として取り組む重要課題

2019年、企業理念に基づき経営として取り組む重要課題を特定しました。

### 重要課題の特定プロセス

1

#### サステナビリティへの貢献を俯瞰的に検証

サステナビリティ  
推進委員会で審議

##### ①「事業における重要性」と「社会における重要性」の 二次元で課題を整理するところからスタート

- 経済価値と社会価値を継続的に創出するための重要課題を抽出
- 技術、デジタル、人などのリソースを活かす視点を考慮
- 労働安全衛生やコンプライアンスなどの諸取り組みとの関係性を整理

##### ② ステークホルダーからの要請の把握

- イニシアティブへの参画を通じて得た国際社会の動向や外部評価の結果を考慮

参考にした主な  
国際ガイドラインやイニシアティブ

- 外部意見 (WBCSDなど)
- ISO26000
- SDGs
- Global Compact 10原則
- GRIスタンダード
- 外部評価 (FTSE、EcoVadisなど)

2

#### 重要課題案を整理

サステナビリティ  
推進委員会で審議

- 経済価値と社会価値をともに継続的に創出するため、経営として取り組む重要課題をマテリアリティ案として選定
- 選定したマテリアリティ案のうち、事業機会創出につながる課題を「社会価値創出に関するマテリアリティ」、事業機会創出の原動力となるリソースを「将来の価値創造に向けたマテリアリティ」と位置づけ
- 労働安全衛生やコンプライアンスなどは、事業継続のために必要不可欠な基盤として位置づけ

3

#### 経営層による審議・承認

数次にわたる経営会議での審議を経て、2019年2月の取締役会にて承認

2019年4月スタートの中期経営計画への落とし込みを実施

##### 社会価値創出に関するマテリアリティ

###### 環境負荷低減への貢献

- 気候変動の緩和
- 製品・技術を通じた貢献
- エネルギー・資源の効率的利用
- プラスチック資源循環への貢献

###### 食糧問題への貢献

###### ヘルスケア分野への貢献

###### ICTの技術革新への貢献

##### 将来の価値創造に向けたマテリアリティ

###### 技術・研究開発の推進

###### デジタル革新への取り組み

###### ダイバーシティ&インクルージョンの推進

##### 事業継続のための基盤

- 労働安全衛生・保安防災
- 製品安全・品質保証
- 人権尊重
- 従業員の健康
- コンプライアンス
- 腐敗防止

## 主要取り組み指標 (KPI)

▶ [当社ウェブサイト](#)

各マテリアリティについて、主要取り組み指標「KPI」を設定しています。今後、KPIを活用して取り組みの進捗状況の管理と開示を進めるとともに、社内外のステークホルダーとの対話を推進し、取り組みの充実と加速につなげていくことを目指しています。